

警 察 署 協 議 会 会 長 連 絡 会 議 録

開催年月日時	令和2年1月23日 午後3時00分 から 令和2年1月23日 午後4時50分 まで	
開催場所	博多サンヒルズホテル	
出席者	公安委員会	公安委員長以下5名
	警察署協議会	各警察署協議会会長等 34名
	警察本部	本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、 地域部長、刑事部長、暴力団対策部長、交通部長、 警備部長、首席監察官
議 事 概 要		
【開会】 【第一部】 〈公安委員会委員長挨拶（要旨）〉 ○ 警察署協議会委員の御尽力により、地域の安全・安心に対する意識が高まり、地域の方と地元警察署が一体となって治安課題に取り組んだ結果、刑法犯の認知件数が17年連続で減少するなど、大きな成果となって表れている。 ○ 今後も、地域に密着している皆様の御意見を頂くことで、各地域がますます安全で安心なまちになっていくものと信じている。 ○ 我々公安委員会は、各警察署協議会へ随時出席しており、地域の安全に関する問題等について活発な協議や活動が行われていることを大変心強く感じている。 ○ 本日は、3警察署協議会からの活動報告はもとより、皆様が日頃の活動で感じていることについても活発な御意見をいただき、公安委員会としても今後の活動にいかしていきたいと考えている。 〈警察本部長挨拶（要旨）〉		

議 事 概 要

- 平素より、警察行政の各般にわたり、深い御理解と御協力を頂き、お礼申し上げます。
- 委員の皆様から頂く、それぞれの地域における治安上の課題やその解決に向けた貴重な御意見が、日々の警察活動にいかされ、県民の安全・安心の確保への大きな力になっていることに大変感謝している。
- 本日の会議が、今後の警察署協議会運営に役立つ情報共有の場となるよう、忌憚の無い意見、提言をお願い申し上げます。

〈警察本部からの報告〉

1 令和元年中の治安概況及び令和2年福岡県警察運営指針等について（警務部長）

(1) 令和元年中の治安概況

三大重点目標及び重点目標に対する昨年の成果や課題等について説明

(2) 令和2年福岡県警察運営指針等

福岡県警察運営指針、三大重点目標及び重点目標の設定理由等について説明

2 事業者等の特性をいかした防犯活動の推進について（生活安全部長）

(1) 事業者等の特性をいかした防犯活動の推進

県内の各種事業者等による特性をいかした防犯活動の事例について説明

(2) 活動による効果

事業者等の防犯活動の効果について説明

【第二部】

〈警察署協議会からの活動報告等〉

1 南警察署協議会の活動報告（南警察署協議会会長）

(1) 警察署と連携した各種活動に対する取組

- 協議会委員として警察と地域住民の懸け橋という役割を再確認し、警察との交流や警察への提案を実施した
- 安全で安心なまちづくりに向けた主体的・能動的な意識を持ち、警察署をはじめ、関係機関・団体と連携して犯罪抑止に向けた複合的広報啓発活動を実施した

議 事 概 要
○ 管内の少年院を視察し、非行少年の社会復帰への取組、施設の安全面等について説明を受け、見聞を広げた ○ 協議会から警察署へ意見・要望をした結果、警察等と共同して「大学生等が各種犯罪の加害者にならないための啓蒙活動」「自転車安全利用促進に向けた広報啓発活動」等の各種活動を実施した (2) 質疑応答等 ○ 筑紫野警察署協議会会長から「すばらしい活動をしていると感じた。私達も昨年、警察署内の留置施設を見学したが、委員の中には事件の被疑者が警察署内に留置されていることを知らない者もいて勉強になった。こうした見識を広げる活動の一つ一つ積み重ねていき、今後にかしたいと考えている。」旨の意見があった。 ○ 早良警察署協議会会長から「学生向けの啓蒙活動を数多くされているが、準備期間や学校への依頼方法を教えて欲しい。」旨の質疑があり、報告者から「直接学校に依頼することもあるが、協議会委員の中に高校や大学の先生がいるので、その方を通じてお願いすることもある。」旨の回答があった。 (3) 公安委員講評 ○ 警察署協議会の目的、役割を再確認し、地域住民の代表として、警察との交流を多面に渡って深めながら、安全安心なまちづくりのために、何をすればいいかを考え、その成果を挙げていることに感心した。 ○ 引き続き、多くの地域住民の意見・要望を伝えていただき、警察業務の参考にさせてもらいたい。 ○ 年度当初に協議会会長と委員が役割を再確認することにより、安全安心なまちづくりに向けて自ら動くという意識が生まれ、様々な交流活動を通じて警察を知ることができ、さらに、地域からの声に住民等を巻き込んだ活動につながっている。今後も是非、発展させてもらいたい。 2 若松警察署協議会の活動報告（若松警察署協議会会長） (1) 協議会の開催要領、委員の構成、活動について ○ 管内の外国人居住者が増加傾向にあることから、令和元年5月に県内初とな

議 事 概 要

る外国人の警察署協議会委員を迎えた

- 協議会の中では、警察署長から活動報告を受けた後、委員のみで検討する時間を設けることにより、委員間の意思疎通や報告事項に対する理解を深め、会議の活性化につながった
- 協議会以外の活動として、署員に対する講話、支援型自動販売機の設置、各種キャンペーン等を実施している

(2) 質疑応答等

折尾警察署協議会会長から、「私達の協議会も外国人の委員が委嘱された。折尾警察署管内は大学が多い地域で、その委員は留学生と接点のある職業に就いている。外国人や留学生の視点に立った意見を聞き、協議会が発展できるよう取り組んでいる。」旨の意見があった。

小倉北警察署協議会会長から、「当協議会も外国人の委員が委嘱された。先日、小倉駅前交番を見学した際、「母国では警察に関わるのは事件に遭ったときぐらいだが、日本には道を尋ねたり、落とし物をして困ったときに立ち寄れる交番というシステムがあり、素晴らしい。」と感動していた。管内では外国人が関わる事件が発生しているので、これから外国人の方の意見や視点をいかしていきたいと思っている。」旨の意見があった。

八幡西警察署協議会会長から「外国人の委員からはどのような意見が挙がっているのか知りたい。また、協議会の中で、委員のみで検討する時間を設けているということだが、どのくらい時間がかかっているのか知りたい。可能であれば、協議会の運営状況を見学させてほしい。」旨の質疑があり、報告者から「委員のみによる検討時間を30分程度設けることにより、委員間のコミュニケーションが密になり、警察の方の前では遠慮してしまうような質問や意見が活発に挙がる。その中から取捨選択して警察の方に意見・要望を伝えている。外国人の方は、委員になって日が浅いので、今は具体的な意見・要望は無いものの、今後の発言に期待している。」旨の回答があった。

(3) 公安委員講評

- 警察署協議会は警察と県民の間に立って、相互のコミュニケーションを取る必要があると思うが、それが非常に上手くいっている。委員の男女比が同じこ

(A4)

議 事 概 要

とや、様々な職業の方がいること、外国人の委員がいることなど、委員構成のバランスが取れていると感じた。

- 委員の出身母体をいかして上手に運営しており、被害者支援のために自動販売機を設置する等すばらしい活動をしている。
- 協議会委員が警察署員に対して「県民の目から警察にどうあってほしいか」等講話をすることは、警察官の非違事案防止に有効だと感じるので、今後も続けていただきたい。
- 今後、外国人の協議会委員は益々増加していくと思われるので、在留外国人の生活を守る、外国人が関係する犯罪を防ぐという観点から、外国人ならではの意見・要望を頂きたい。

3 嘉麻警察署協議会の活動報告（嘉麻警察署協議会委員）

(1) 交通安全対策に関する取組について

- 管内主要道路の一部がバイパスになり、八丁トンネルが開通予定であったため、交通量の増加が予想され、住民から交通事故に対する不安の声があった
- 開通前の八丁トンネルを視察し、トンネル内の交通事故防止、交通事故発生時の対策を要望したところ、嘉麻警察署、隣接する朝倉警察署、地元消防等による乗用車事故の想定訓練が実施された
- 管内の国道は大型車両の通行量が多いにもかかわらず、道路の幅員が狭く、昨年3月、4月に交通死亡事故が続けて発生した
- 国道が交わる交差点に登下校中の児童の歩行者待機場所が無かったため、関係機関に働きかけ、早期に歩行者待機場所を設置した

(2) 質疑応答等

- 行橋警察署協議会会長から、「今後の取組として防犯カメラの設置促進を挙げているが、当協議会も昨年から防犯カメラの設置促進に取り組んでいる。しかし、費用面が課題となり、設置を依頼しづらい状況があるので、良いアイデアがあれば、教えていただきたい。」旨の質疑があり、報告者から「金額面は大きな課題である。設置費用を補助する対象を公共的な立場の団体にも

議 事 概 要

適用する等、協議会の要望という形で今後、市長に提案したいと考えている。また、防犯カメラの設置以外でも、医療機関等で診療終了後も電気を点灯し、夜間の外灯の役目を果たす等の防犯活動を推進するつもりである。」旨の回答があった。

- 八女警察署協議会会長から、「八女市は防犯カメラ設置の助成金が充実しているので、自治体に尋ねて参考にさせていただきたい。」旨の意見があった。
- 小郡警察署協議会会長から、「防犯カメラの設置のみならず、タクシー・運送業界に登録等の協力を依頼し、車に設置しているドライブレコーダーを事件が発生したとき等にSNSを利用して活用する方法を考えているところである。今後はドライブレコーダーの普及を促す活動をしたいと考えている。また、公共機関が発達していない地域では、車は生活に不可欠であり、高齢者の免許返納が進まないと思うが、嘉麻ではどのような状況か教えていただきたい。」旨の質疑があり、報告者から、「その点については、警察だけではなく、行政機関にしっかりと返納後のフォローをして欲しいと考えている。」旨の回答があった。

(3) 公安委員講評

- 免許返納に関しては、高齢者の運転問題を含めて行政に動いてもらわなければならない問題だと思うので、是非市長へ要望をしていただきたい。
- 八丁トンネルの開通によりスピード違反の増加に対する懸念や通学路の安全確保等の課題があると聞いているので、今後も警察や行政への働きかけをお願いしたい。
- 八丁トンネルの開通等インフラが大きく変わることは、住民にとって大きな問題となるので、このことに着目し、しっかりと調査し、意見を反映させるという活動は素晴らしい。
- 防犯カメラ、ドライブレコーダーの件については、設置だけではなく、維持、記録等にも費用がかかるし、プライバシーの問題もあるので、警察とよく相談していただき、協議会の方々には色々な面で盛り上げていただきたい。

【閉会】

(A4)